

第23回日本乳房炎研究会 シンポジウム・学術集会・総会

日時：平成30年10月12日（金）9：30～17：00（8：30受付開始）

場所：機械振興会館（東京都港区芝公園3-5-8）

プログラム：

- ・学術研究（公募演題発表）
 - 口頭発表（9：35～11：00）
 - ポスターディスカッション（11：05～12：00）
- ・共催セミナー（12：00～12：40）
 - （ペーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社）
 - 「高い抗炎症作用と持続性のメタカム®2%注射液-その適用と新しい知見について-」
 - 柿崎竜二郎（BIAHJ株式会社キャトルグループ）
- ・シンポジウム（13：15～15：20）
 - 『ウシの泌乳生理メカニズムの知見を整理してみる』
 - 基調講演：乳が分泌されるメカニズムを細胞レベルで考える
小林 謙（北海道大学大学院農学研究院）
 - 関連講演：泌乳期の母体と子を守る母乳中アミノ酸代謝について
永岡謙太郎（東京農工大学大学院農学研究院）
- ・研究会関連企画（15：30～16：30）
 - 関連研究：新しい乳房炎の治療指針について
河合一洋（麻布大学獣医学部）
 - 関連事業：熊本震災の経験の総括と今後災害に備えた提案
村上 聡（らくのうマザーズ生産本部営農指導課）
- ・総会（16：35～16：50）
- ・日本乳房炎研究会高居百合子学術賞授与式（16：50～17：00）
- ・情報交換会（17：30～20：00）

参加費：会員3,000円、学生会員1,000円、非会員5,000円

情報交換会：会費4,500円

問合せ先：日本乳房炎研究会事務局

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

東北大学大学院農学研究科内

事務局長：林 智人（農研機構・動物衛生研究部門）

E-mail：nipponmastitis@ml.affrc.go.jp

URL：<http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/nyubou/index-j.html>